

Y プロジェクト主催 舞台劇

「莠」 出演者オーディション

2021 年 12 月 10 日(金)・12 日(日) 開催

2022 年 4 月 27 日(水)～30 日(土)に渋谷区伝承ホールにて行われる Y プロジェクト主催 舞台劇「莠」の出演者を募集いたします。

莠－ゆう－

悪人・まやかしの、はぐさ。善に似ているが、実は悪い物のたとえ。稲に似ているが、葉ばかり伸びて実らない

劇団俳優座所属の演出家 安川修一の書き下ろし作品

企画概要

「莠」の脚本は、図書館で本を漁っていた時、昭和天皇とマッカーサーがツーショットで撮られた一枚を見てインスピレーションを得たことに端を発する。戦後、天皇財閥解体をマッカーサーが進めていた。合衆国議会は天皇制廃止を、また大戦に関わった国々も天皇制廃止を狙っていた事実が頭を駆け巡った。

マッカーサーと天皇の会談は 11 回以上が行われ、吉田茂、当時の総理を差し置いて国政をダレス国務長官との会談で進め、朝鮮戦争勃発と日本国内に米軍基地化を承諾している。学生、労働者によるデモ「安保反対」が、日々起こる。

主役の男は、六大学の学生から陸軍中野学校に引き抜かれ、入学し、主席で卒業。活動的な男は、ソ連はウラジオストクからの帰国の途中、アイヌとの混血の女を、略奪婚し、スパイの世界に連れ込み、二人の娘を儲けている。

二人は淡い恋の中、女は一方でアイヌ文化の研究者と淡い恋に溺れ、家も娘も夫も捨て別な生活を送る。それから、十数年後の話を物語にしている。

国の政策に翻弄されるのはいつの世も市井の人々たち…。私の描く脚本はこうした人々への眼差しが根底にある。時代を超えて江戸、戦中、戦後と市井の人々を見つめ続けてきて次に挑むのが、国の政策に直結した男の生き様と彼を主軸に私の故郷、北海道に馴染みが深いアイヌ民族の人々にスポットを当てた作品になる。

《演出家・安川修一より》

ファーストシーンに、男対男の激しい闘争シーンを組み入れてあります。このシーンをどなたか二人で演じて欲しい。かなり高度なテクニカルなシーンにつくりたいのですが。よろしくお願いいたします。

私たちは、皆さんと一緒に良い舞台を制作したく声を掛けさせていただいております。
どうぞよろしくお願いいたします。

あらすじ

日本が高度経済成長期へ向かう 1956 年、冬。

川俣雄大が行きつけの飲み屋の暖簾をくぐるとそこには既に先客が。正体を悟られないよう注意を払うが、先客も雄大から何かを感じ「自分は陸軍中野学校習志野二俣分校出身で」と身分を明かす。同士であると分かった雄大は互いに打ち解け、二人の会話から陸軍中野学校時代のことや、戦中後の日本の姿が顕わにされていく。

先客が去った後、女将から次女のタモの様子がおかしいと聞く。家庭を顧みず政府に利用されていた男は、別な男に妻を奪われ、幼い二人の娘を育ててきた。過酷なスパイの世界の片隅でささやかな幸せを維持しようとしてきたが、自分の知らない所で亀裂が生じ始めていた……。

公演概要

「莠」

脚本・演出：安川修一（俳優座）

- 公演日程 2022 年 4 月 27 日（水）～ 30 日（土）全 8 回公演
- 稽古日程 2022 年 3 月中旬からを予定
- 公演会場 渋谷区文化総合センター大和田 6F 伝承ホール

オーディション概要

●募集内容

「莠」登場人物（全配役をオーディションにて決定します）

	想定年齢
川俣 雄大	50 歳
カシイ（雄大の長女）	30 歳
タモ（雄大の次女）	20 歳
健一（カシイの夫、小説家）	35 歳
田中さん（声）	55 歳
翌檜の女将	45 歳
道子（翌檜の娘。タモの同級生）	20 歳
ジャン・ギャバン（翌檜の客）	46 歳
蓮・連れの男（ギャバンの上司）	53 歳

ノン（場末のバーテンダー）	27 歳
メロ（安キャバのバイオリニスト）	26 歳
チビ（タモの一学年下）	20 歳
ケン（タモの同学年・恋人）	21 歳
霞（雀荘・巽のおばさん）	47 歳
巽（雀荘の主人、霞の内縁の夫）	50 歳
マスクの男（少年課、刑事）	48 歳
女医（潜りの産婦人科医）	45 歳
クランケ（若い女・女子大生）	25 歳
ウェーター（同伴喫茶エジンバラの）	23 歳
裕子（ケンの女友達）	20 歳
安藤（歌舞伎町は学生ヤクザのボス）	51 歳
組員 1（安藤の舎弟）	21 歳
2（同じ）	19 歳

*一人で二役をこなしていただく方もいます。また声の出演をしていただく方もいます。

●オーディション日時と会場

下記いずれか1回にご参加ください。

- ① 2021年12月10日(金) 14:00～17:00
- ② 2021年12月12日(日) 18:00～21:00

YCC 代々木八幡コミュニティセンター2F（スタジオ1・2）

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-1-15

小田急線「代々木八幡駅」6分

地下鉄千代田線「代々木公園駅」6分

京王バス[渋66][渋61][渋63][渋64]系統「八幡下」5分

[ハチ公バス 本町・笹塚循環 春の小川ルート](#)「7・35 八幡下」5分

（オーディション参加の方全員に交通費として一律3千円をご用意いたします）



●応募資格

下記条件をすべて満たしている方

- ・18歳以上の心身ともに健康な方
- ・2022年4月25日の劇場入り～千穂楽まで全てに参加可能な方

●応募メ切

2021 年 12 月 5 日（日） 必着

●応募方法

プロフィールをメール又は郵送にてお送りください。

＊メールアドレスと電話番号は必ずご記載ください

●送り先

MAIL ypro.theater@gmail.com

郵送 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-15-10-602

(有) Y プロジェクト

「莠」ゆう・オーディション係

●選考方法

面談と実技審査

お問合せ

(有) Y プロジェクト

TEL : 03-3485-2089

MAIL: info@ypro.co.jp

演出家プロフィール

安川修一（脚本・演出）

1940 年 北海道札幌市生まれ。脚本・演出家。

高校生の時、札幌に巡演に来ていた薄田研二の「無法松の一生」を観て衝撃を受け演劇を志す。

早稲田大学第一文学部演劇科に進学。在学中から演劇活動始める。同大学中退後、劇団を立ち上げ演劇活動にのめり込む。劇団解散後、紆余曲折を経て 20 代後半で劇団俳優座に入団。

俳優座では舞台部に在籍し、千田是也や田中千禾夫演出の舞台監督を数多く務める。

恩師の演出術を間近で学びながら徐々に自らも演出を手掛け始める。

劇団での初演出以来「閩江風土記」「日々の敵」など多くの舞台を演出。山本周五郎や藤沢周平が描く江戸の世界をこよなく愛し、演出した「赤ひげ」「きょうの雨あしたの風」「三屋清左衛門残日録」はいずれも好評を博し全国を巡演。

近年は脚本執筆にも力を入れている。

●俳優座での演出歴

- 1987年 「たすけて」 作：山内久
- 1994年 「閩江風土記」 作：水上勉
- 2001年 「日々の敵」 作：秋元松代
- 2002年 「きょうの雨 あしたの風」 原作：藤沢周平
- 2004年 「三屋清左衛門残日録～夕映えの人～」 原作：藤沢周平
「ザ・パイロット」 作：宮本研
- 2005年 「次郎長が行く」 作：宮本研
- 2006年 「喜多川歌麿女絵草紙」 原作：藤沢周平
「コルチャック」 原作：近藤二郎・近藤康子 脚本：安川修一
- 2007年 「国境のある家」 作：八木柊一郎
- 2008年 「赤ひげ」 原作：山本周五郎 脚本：安川修一
- 2009年 「村岡伊平治伝」 作：秋元松代 脚本：安川修一
「蟹工船」 原作：小林多喜二 脚本：安川修一
- 2010年 「どん底」 作：マキシム・ゴーリキー 脚色：安川修一
- 2011年 「リア王」 作：W・シェイクスピア 脚色：安川修一
- 2014年 「東海道四谷怪談」 作：四世 鶴屋南北 脚本安川修一
- 2016年 「常陸坊海尊」 作：秋元松代

●外部での演出

- 2007年 英の会 第16回公演「はなれ瞽女おりん」
作：水上勉 主演：英 太郎 会場：俳優座劇場（再演・日本橋劇場）

●脚本

- 2015年 「市塵」 原作：藤沢周平
- 2017年 「檜山節考」 原作：深沢七郎
- 2018年 「海辺のカフカ」 原作：村上春樹